

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、１３～１８℃台を示し、やや低めからかなり低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが１日１統当たり２トンの水揚げ（前年を下回った）。
五島奈留地区では、マイワシが１日１統当たり８トンの水揚げ（前年を上回った）。
北松南部地区では、マサバなどが１日１統当たり２４トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では１日１統当たり５１kgの水揚げで、前週の７３％（前年並み）。壱岐勝本地区では、１日当たり１．９トンの水揚げで、前週の４．２倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では１日１統当たり２４kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり１３６kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。五島奈留地区では、１日１統当たり３kgの水揚げ（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが１日１統当たり７４５kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが１日１統当たり１３６kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マサバなどが１日１統当たり９６kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが１日当たり１６４kgの水揚げで、前週の６７％（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（４／５～４／９の５日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬沖～山陰沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）では、２日延１３隻、総計４４７箱、１航海最高５０箱、平均３４．４箱、スルメイカを漁獲、魚体は（２０～５０入）。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>